



藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

令和8年1月8日 校長 竹田 聰

《目指す生徒像》

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

<3学期、新年を迎えて>

本年もよろしくお願いします。事故報告もなく3学期を迎えることができました。この場をお借りして、ご家庭のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

3学期は一番短い学期で、学年のまとめを行い、進級・進学に備える時期です。1, 2学期の反省を踏まえ、お子さんが自分の力でやり切り、自律から自立へつながるような支援をお願いします。

<3学期始業式 学年代表の話>

1年生代表

今日から3学期がスタートしました。短い冬休みでしたが3学期の目標はできましたか?僕は2学期のことを振り返り、3学期の目標を3つ立てました。

1つ目は勉強と部活の両立です。2学期も勉強と部活の両立を目標に生活をしていたのですが、達成できたとはいえないませんでした。そこで課題だと思ったのは、時間の使い方です。2学期は家に帰った後、寝てしまったり、好きなことをやったりと優先順位を考えた行動ができていませんでした。そこで、3学期の生活では勉強を第一に考え、時間の使い方に気をつけたいです。

2つ目は部活動です。2学期では怪我をしてしまったことが課題でした。2学期では県駅伝のために練習を積んできたのですが、大事なときに怪我をしてしまい、1年間の練習を水の泡にしてしまいました。3学期の練習は来年の夏にも関わる大切な時期なので、怪我をせず練習を積めるようにしたいです。

3つ目は駅伝部の先輩から学んだことを活かすことです。僕は駅伝部の一員として活動しましたが、学年関係なく仲が良く、とても良い雰囲気の中で、伸び伸びと活動できました。練習は時には厳しいこともありましたが、駅伝部の活動期間は、先輩たちのお陰でとても楽しく、充実した日々となりました。この経験を活かし、良い雰囲気をつくることができる先輩になりたいと思います。

僕たちは、4月からは新入生が入ってきて全員が先輩となります。駅伝部で僕が感じたように、先輩として学校の雰囲気を作ることはとても大事だと思います。3学期は学年をつくる締めくくりとして大切な時期です。課題であるメリハリを意識して、先輩として良い学校の雰囲気を作る学年になれるよう全員で取り組んでいきましょう。

2年生代表

3学期が始まり、気持ちを新たにしている人も多いと思います。また、私たち2学年は、中学校生活の一大イベントである修学旅行を控えています。私は、この修学旅行を充実したものにするために、2学期以前の反省も踏まえ、一つの目標を立てました。

それは、「前倒しできるところは前倒しする」です。例えば、修学旅行に行くにあたって、様々なものを提出する機会があると思います。しかし、締め切り前にしか動かないと、クオリティが落ちる他にも、次にやらなければならないことなどの見通しもおろそかになります。そのため、「前倒し」で取り組むと余裕が生まれ、メンタル的にも安定することができるのです。

また、係の仕事など全体で動くときに「前倒し」で動かないと、周りを見て動けなくなってしまい、全体が停滞してしまいます。そこで少し前倒しで動くことで、スムーズに場を進めることができます。この学年の課題である2分前着席も、前倒しで動くことの一環です。授業と休み時間のメリハリをしっかりとつけて動くことも、修学旅行をスムーズに進めるうえで大切なことです。この物事を少し前倒しに進めるということを意識することで、根本から学年全体のクオリティを高めることができます。

3学期は次の学年への準備期間でもあります。今までお世話になった先輩方のように、部活動や学校生活で藤中学校のお手本となれるように、一人ひとりが意識していきましょう。

3年生代表

2週間の冬休みが終わり、今日から3学期が始まります。皆さんはこの冬休みを有意義に過ごすことができましたか。

私たち3年生にとってこの冬休みは、受験勉強中心の生活になったことでしょう。私は勉強の時間を多くとるため塾の授業が始まる30分ほど

前に通塾し、受験勉強をしたり、授業終了時にはその日に習った単元の復習をしたりして、学びを深めました。家庭学習では、ずっと勉強に励むのではなく、気分転換するために一度机を離れ、心に余裕をもって生活することを心がけました。

3学期を迎えるにあたって、私の目標は2つあります。

1つ目はクラスの授業準備や3分前着席の声がけを積極的に行うことです。時間に余裕をもって行動することで、心にも余裕が生まれ、気持ちを落ち着かせることができます。切替の大切なテストにおいて、メリハリをもつことはとても大事です。そのために3学期は班長に協力してもらい、班員が授業準備をしているのか、3分前着席し静かにできているのかチェックします。この取組を通して、全員が他人事ではなく自分事として考えることができる、当事者意識をもった集団を作りたいです。

2つ目は、家庭での時間の使い方です。私は私立高校への進学を目標に日々勉強していますが、偏差値が自分の目標とする高校の基準に届いたとき、気が抜けてしまい家庭学習がおろそかになってしまう日がありました。今振り返ってみれば、無駄な1日であったと思います。家庭での時間の使い方を工夫すると、やるべきことをやるべき時にできるようになります。例えば、私はテレビゲームが好きで、家でやることが多くありますが、何も考えずにゲームをしていると、学習時間を確保することができません。受験生としてたくさんやることがあるので、有意義な時間の使い方を意識することは、とても大切だと考えます。3学期は、入試までの残りの日数を意味のあるものにするため、見通しをもった生活を送り、すき間時間を有効的に使っていきます。

入試まで残り数日となりました。悔いの残らない結果にするために、最後まで粘り強く学習を続け、自分の掲げた目標に対し、胸を張って「達成できた」と言えるような学校生活を送っていきたいです。

<校長の話(概要)>

本年もよろしくお願いします。冬休みはどのような生活を過ごしましたか。私の冬休みの話を2つします。

1つ目は、今年も1月1日に藤中の屋上で、「初日の出」を拝みました。校長になってから1年の無事を願い、学校で「初日の出」を拝んでいます。今年は東の地平線に雲がありました。少し遅れて「初日の出」を見ることができました。今年もタイムラプス機能を使い、1秒1コマで撮影しました。雲が西から東へ流れる様子がよく分かります。機会があれば皆さんにも見てもらいたいと思います。

2つ目は、高校の部活動の友達と新年会を行いました。毎年「1月2日17時に池袋集合」が40年以上続いています。60才を過ぎて、余裕ができたこともあり高い出席率でした。高校時代の思い出話で盛り上がり、これから先についての不安や悩みを話しました。みんな似たり寄ったりの生活をしていて、心が安らぐ時間を過ごすことができました。

今年度も残り3ヶ月、75%が終わっています。細かく刻めば学年+0.75年生となります。1つ上の学年のつもりで過ごしましょう。

3学期の始めにあたり、皆さんに大切にしてほしい3つのことを話します。

1つ目は学習を大切にすることです。今の学年で学んだことは、次の学年ではできて当たり前のことになります。自分の学習状況を、速さと正確さの面から見直しましょう。学習には個人差があります。持久走と同じように、早くゴールした人は、全員が気持ちよくゴールできるように応援しましょう。持久走では、大きな声が応援になります。学習では静かに待つこと、聞かれたら親身になって答えることが応援になります。親身に答えるとは、何が分からぬのか理解して考え方を教え、できた喜びを分かち合うことです。答えを教えてしまうことは、持久走ならショートカットやおんぶしてゴールするようなものです。全員が自分の力でゴールできるように、ともに学び合ってください。

2つ目は人と自分を大切にすることです。そのために、目を合わせて気持ちのよい「あいさつ」をすること、「ありがとう」と感謝を伝えること、過ちは素直に「ごめんなさい」と言うことが大切です。言葉をボールと同じように考えましょう。相手が取りやすくなるように考えてから言うことで、スムーズなコミュニケーションになります。何かあっても言い方・伝え方に気を付けましょう。嫌な言葉は、ケガをするような危険なボールと同じです。また、冬休みの前に話したように、イジりは「いじめ」になりますから、絶対にやめましょう。3年生は卒業式、1、2年生は修了式までに別れが惜しいクラスになるように、人と自分を大切にしてください。

3つ目は校舎や教室を大切にすることです。次の学年へよい状態で引き継げるよう、借りていることを忘れずに、清掃や整理整頓を心がけましょう。気持ちは行動に表れますので、感謝の気持ちが伝わる清掃、整理整頓を期待しています。「立つ鳥跡を濁さず」、残すのは感謝の気持ちだけにしてください。

年末や学年末になると、「終わりよければすべてよし」という言葉が聞かれます。昨年度も話しましたが、「はじめよければ終わりよし 終わりよければすべてよし」と続きます。3学期が、令和8年のよいスタート、令和7年度のよい終わりとなることを期待しています。